

品種解説：「サオトメ」

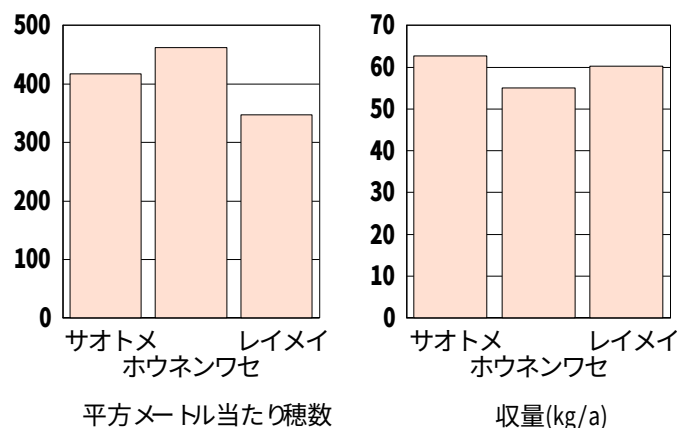
概 要：本品種の障害型耐冷性は「ハウネンワセ」並みの“中”である。名前の意味は、“田植え後のみずみずしさ”を表現する。

1. 来歴の概要

多収で良質の「レイホウ」と早生・穂重型で良食味であるがいもち病に弱い「北陸 84 号」との第一世代を母とし、早生でいもち病抵抗性強の「トドロキワセ」を父として、1970 年に北陸農業試験場で交配された。1979 年に「北陸 113 号」の系統名が付けられ、1986 年に水稻農林 278 号として登録された。

2. 形態的特性

- ・ 稈 長：「ハウネンワセ」より短く、「レイメイ」「アキヒカリ」より長い。
- ・ 穂 長：「レイメイ」より短く、「ハウネンワセ」よりやや長く、「アキヒカリ」並みである。
- ・ 穂 数：「レイメイ」「アキヒカリ」よりかなり多く、「ハウネンワセ」よりやや少ない（下図参照）。偏穂数型のうるち種である。
- ・ 粒 大：「レイメイ」「アキヒカリ」より小さく、「ハウネンワセ」と同程度かわずかに小さい。
- ・ 千粒重：「レイメイ」「アキヒカリ」より軽い。



生態的特性

- ・ 出穂期：「レイメイ」より 1 日遅く、「ハウネンワセ」とほぼ同じ。
- ・ 成熟期：「レイメイ」より 1 日早く、「ハウネンワセ」より一日遅い。育成地では“早生の早”である。
- ・ 収量性：「レイメイ」より高く、早生としては多収である（上図参照）。
- ・ 耐倒伏性：「レイメイ」よりやや弱い。
- ・ 葉いもち抵抗性：「ハウネンワセ」と同程度。
- ・ 穂いもち抵抗性：「ハウネンワセ」よりやや強い。
- ・ 耐冷性：「ハウネンワセ」並みの“中”である。
- ・ 穂発芽性：「レイメイ」並みである。

特 性	サオトメ	ハウネンワセ	レイメイ
耐冷性	中	中	やや強
耐倒伏性	やや強	弱	強
葉いもち抵抗性	やや強	やや強	強
穂いもち抵抗性	やや強	中	やや強
穂発芽性	中	やや難	中

3. 品質・食味特性

- ・腹白、心白、乳白は極めて少ない。
- ・玄米の外観品質は「レイメイ」より良く、「ハウネンワセ」とほぼ同等。
- ・食味は「ハウネンワセ」並みかやや良く“上の下”である。

4. 適地等

- ・東北南部以南の高冷地帯を含む早生品種地帯に適する。

5. 栽培上の注意

- ・いもち病抵抗性はあるが、激発地帯では適期防除に努める。
- ・耐冷性は中程度であるので、特に標高の高い地帯や冷害地帯は避ける。
- ・白葉枯病および縞葉枯病には弱いので、これらの病害の発生地帯は避ける。

<参考資料>

農林水産省農林水産技術会議事務局（昭和 61 年 6 月）：昭和 61 年農林水産省育成農作物新品種（夏作物・園芸作物）。